



おかげさまで80年

丸喜株式会社齋藤組

本社:〒030-0822
青森市中央2-2-12
TEL017-777-3329/FAX017-723-1796
展示場:〒030-0843
青森市浜田1-7-10
TEL017-729-8832/FAX017-762-1648
http://www.marukisaito.com



丸喜の家、完成いたしました

前回ご紹介いたしました 青森市西部地区 T様邸新築工事
見どころたくさんT様邸、今回は照明に注目してご紹介します。

県外ご出身のT様ご夫婦は、あおもりライフをととても楽しんでくださっており、
青森県民としては、この地にお住まいいただけること、県産のものを愛して下さる
ことをとても嬉しく思います。
今回、住宅への採用にあたり、地元の私たちのほうが県産物の魅力に気づかされる
よい機会をいただいたと思っています。
ご両親やご友人がいらした時にも会話がはずむのを想像するとそれもまた嬉しく思います。



玄関でまずお迎えする灯りは、津軽びいどろ。
サイズやデザインを計画時から吟味、オーダーメイドの1品

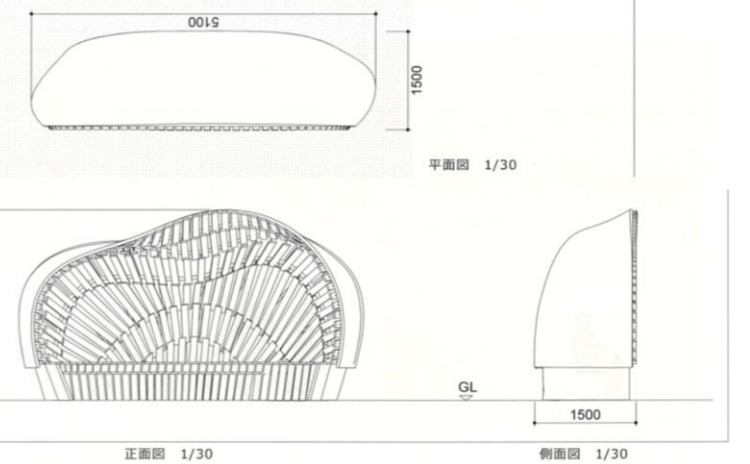
これ、な〜んだ？

青森緑・森と街をつなぐ、まちなみリノベーション計画が青森市問屋町で動き出しました。
木材の造形を得意とする隈研吾建築都市設計事務所監修のもと、県産材を使用したストリートファニチャーで街を彩ります。



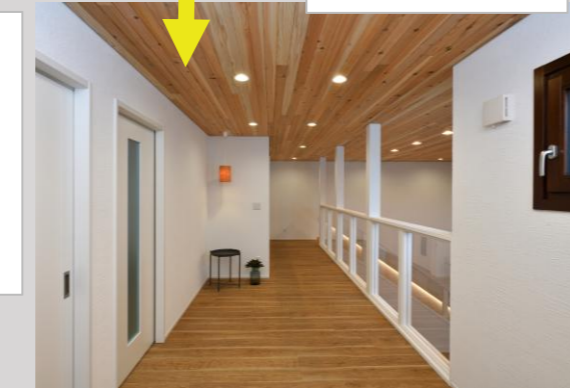
問屋町の街並みを彩ってきたイチョウの街路樹や青森ヒバを再利用、素材として再生、緑資源の循環を促します。
合わせて地域のシンボルとなり、人々が集う空間となり、街が活性化されていくとよいなと思います。

計画に先立ち制作された模型、みなさま何にみえますか？
青森といえば・・・？こどもたちにも人気でそう・・・？
完成を追ってまた、レポートいたします🍏



▼ 2階ホールにもブナコペンダント。ろうかの通路灯としての存在感はもちろん、透明な吹抜け手摺なので1階リビングからも眺めることができます

毎日のだんらんと共にあるダイニングペンダントは1灯？2灯？デザインは？最後まで悩んで選んだ納得の一品。あたたかくやさしい灯りと杉板との相性がぴったりです



トイレのブナコは「食べられちゃったりんご」お子さんたちのお気に入りです



終了しました



『エンジョイ&リラックス』は、青森市金沢にお店を持つ雑貨店『つなぐ』さんが、2ヶ月に一度、浜田展示場ZEROへすてきな仲間たちと出張してくれるイベントです。

最近は内容もパワーアップしており、ワークショップも満載！バスボムやモザイクタイルのプレート作り、糎を学べるワークショップ、親子で楽しむ消しゴムはんこ作りなどなど…合わせておいしいスイーツやかわいい雑貨…

さまざまな年齢層の方が思い思いに楽しんでいただけるイベントへすくすく育っている感じがします。

吹き抜けのリビングソファで、おいしいお茶を楽しみながら。ヨガでからだをゆるめながら。フレンドリーな出店者のみなさんと会話をたのしんでゆっくりしていただけるのが、齋藤組としてもとても嬉しいのです。

今回は6月13日・14日の予定です、はやくも次のわくわく計画進行中。初夏のお出掛けにぴったりの季節。出店者さん情報などは@enjoy_relaxで順次ご紹介しています。

ぜひお気軽にお立ち寄りください。



pilinaゆきのて



つなぐ



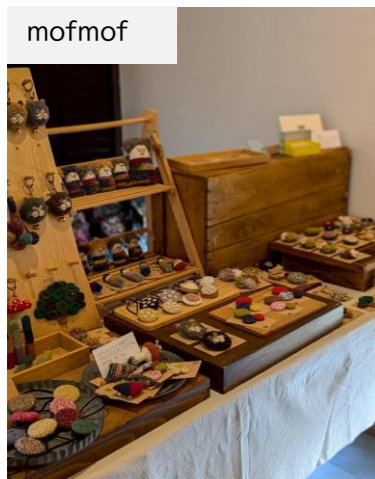
糸ことり



ワタナベミチコ



shiroineko



mofmof



corie



ミチヨリヨガ



blossom raw sweets

PIC UP

kitpas

キットパス

みなさん「キットパス」をご存じですか？

いつもおいしいドリンクやフード、楽しいワークショップ『enjoy&relax』を盛り上げてくれる coffee stand kello 鳴海さん(コーヒースタンド・ケロ@tanakayoufukuten)が今回持ってきてくれたのがこのキットパス。



チョークメーカーの日本理化学工業が製造するガラスをはじめ様々な素材に自由に描ける絵具です。パッケージもカラフルでかわいい！

素材はライスワックス、お米を精米する際にでるぬか層からできるエコで安心な素材です。ツルツルした窓にも描けて水溶性なので、簡単に消すこともできます。

丸喜齋藤組 展示場ZEROの特徴のひとつである「日本の窓」製トリプルガラスの大きなリビング窓、木枠を額縁に大人も子供も思い思いに自由に楽しんでいました。発色もよく、お水を混ぜて色をぼかしたり…季節の行事に合わせてデコレーションしたり、家族へのメッセージを書くのもすてきです。

このたび、インストラクターの資格も取得した鳴海さん どんな思いから資格をとろうと思ったか、と今後の活動について教えてください！

子どもの頃から、絵を描いたり落書きをすることが大好きでした。その「好き」をいつか活かせたらいいなと思いながら、大人になり子育てをしてきました。

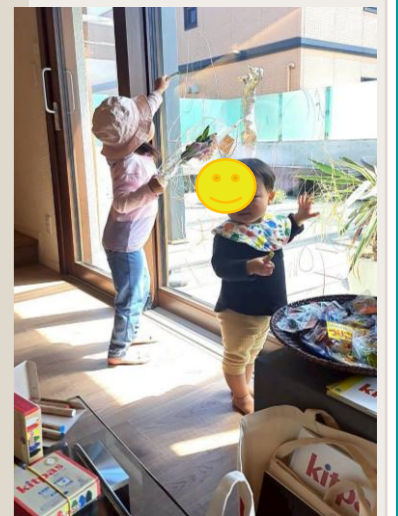
そんな中、たまたま知人の紹介でキットパスインストラクターの存在を知り、キットパスの魅力にどんどん惹かれていきました。「これはもう魅力しかない！」と思い、インストラクターになることをきめました。

これからは、たくさんの人たちと一緒に自由に絵を描く楽しさを共有していきたいと思っています。とのこと、楽しみです。

鳴海さんは青森市古川にレンタルスペースPATCH(パッチ)の運営も主催されています。インスタグラム@patch.aomoriもぜひのぞいてみてくださいね。



coffee stand kello 鳴海 絵美さん



MARUKI BOOKS INFORMATION

お問い合わせは 営業 岡田浩樹 まで
携帯 080-5559-0149
Omail h_okada@marukisaito.com



なぜ建築家は無茶をするのか

吉田研介 著

草思社 ¥1,870(税込) ISBNコード 9784794228369

腐敗する木のルーバー、雨漏りする自邸、6坪の狭すぎる敷地……しばしば批判にさらされる、著名な建築家が手掛けるいつけん極端に見える建築は、ただ無茶なデザインをしたいだけなのか、そうまでして成し遂げたい別の意図があるのか。建築家という生き物の性を、歯に衣着せぬ口調でリアルに浮かび上がらせる、批評的建築エッセイ！

Find us on Facebook



住宅に関するご質問などはお電話・FAX・メールでも受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

丸喜(株)齋藤組 浜田展示場

TEL017-729-8832 FAX017-762-1648

E-mail : tenjijo@marukisaito.com



HPお問合せフォーム

